

個別施設計画

策定年月 | R3.1

施設名	鴨方高等学校			所在地	浅口市鴨方町鴨方819		
敷地面積	41,450.00 m ²			棟数	33 棟 (計画記載対象 9 棟)		
延床面積	11,295.95 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 <u>6弱</u> 津波 <u>-</u> 浸水 <u>-</u>							
建築規制	非線引都市計画区域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2019年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)			
	212,540 kwh	1,042 m ³	2,921 m ³	1,250 0			
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 浅口市指定緊急避難場所・指定避難所(地震・洪水・土砂災害)						

1 施設内建物の概況

名 称	普通教室棟(56棟)16-1	普通教室棟(67棟)16-2	管理特別棟(68棟)19-1
築年(西暦)	1975 年	1976 年	1976 年
構 造	鉄筋コンクリート造 4 階	鉄筋コンクリート造 4 階	鉄筋コンクリート造 4 階
建築面積	222.59 m ²	204.31 m ²	742.20 m ²
延床面積	890.14 m ²	815.59 m ²	2963.69 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室	普通教室 情報メディア室 講義室	事務室 職員室 会議室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	電力設備 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	管理特別棟(75棟)19-2	管理特別棟(79棟)19-3	体育館(73棟)26
築年(西暦)	1976 年	1978 年	1977 年
構 造	鉄筋コンクリート造 4 階	鉄筋コンクリート造 4 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	226.20 m ²	266.80 m ²	1253.75 m ²
延床面積	904.80 m ²	1067.20 m ²	1524.71 m ²
主要な用途 (室名等)	第一コンピュータ教室 LL教室 美術教室	保育教室 被服教室 音楽教室	体育館
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	武道場(81棟)28	宿泊棟(88棟)32	実習棟(90棟)34
築年(西暦)	1980年	1989年	1997年
構造	鉄骨造 1階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	378.45 m ²	353.50 m ²	177.45 m ²
延床面積	432.12 m ²	607.93 m ²	709.80 m ²
主要な用途 (室名等)	武道場	食堂 宿泊室	看護福祉実習室 合併教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備)
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
普通教室棟(56棟)16-1	予防保全を図る。
普通教室棟(67棟)16-2	予防保全を図る。
管理特別棟(68棟)19-1	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
管理特別棟(75棟)19-2	予防保全を図る。
管理特別棟(79棟)19-3	予防保全を図る。
体育館(73棟)26	予防保全を図る。
武道場(81棟)28	長寿命化改修を行う。
宿泊棟(88棟)32	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。 長寿命化改修を行う。
実習棟(90棟)34	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
内部・外部の改修を行う。
(81棟)2022年度以降設計・施工 (88棟)2025年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
普通教室棟(56棟)16-1	予防保全				予防保全を図る。						
普通教室棟(67棟)16-2	予防保全				予防保全を図る。						
管理特別棟(68棟)19-1	設備等の定期更新								トイレ洋式化		
管理特別棟(75棟)19-2	予防保全				予防保全を図る。						
管理特別棟(79棟)19-3	予防保全				予防保全を図る。						
体育館(73棟)26	予防保全				予防保全を図る。						
武道場(81棟)28	長寿命化改修										設計・施工
宿泊棟(88棟)32	設備等の定期更新				トイレ洋式化						
	長寿命化改修								設計・施工 1		
実習棟(90棟)34	予防保全				予防保全を図る。						

4. 概算費用

総額 2億円(長寿命化改修)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R4.3	管理特別棟(68棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更
R6.3	管理特別棟(68棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更
R8.3	武道場(81棟)において、長寿命化改修のスケジュールを変更